【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【公表番号】特表2018-519997(P2018-519997A)
【公表日】平成30年7月26日(2018.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2018-028
【出願番号】特願2018-500800(P2018-500800)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｆ　15/02　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　 1/00　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　15/00　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　15/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｆ　15/02　C
Ｂ０１Ｆ　 1/00　F
Ｂ０１Ｆ　15/02　A
Ｂ０１Ｆ　15/00　Z
Ｂ０１Ｆ　15/04　A

【手続補正書】
【提出日】令和1年7月19日(2019.7.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
様々な実施例が記載された。これら及び他の実施例は、次に述べる特許請求の範囲内にある。本発明の実施形態の例を、以下の項目［１］～［２５］に列記する。
［１］
製品ディスペンサーであって：
流体分注リザーバーであって、前記流体分注リザーバー内で形成された化学溶液を分注するように構成された出口を有する、流体分注リザーバーと；
加圧流体を前記流体分注リザーバーに供給するように構成された流体供給入口と；
前記流体分注リザーバー内に位置するプラットホームであって、前記プラットホームは、固体製品を保持し、前記固体製品を前記加圧流体に晒すように構成された、プラットホームと；
前記流体分注リザーバー内に位置する固体製品リザーバーであって、前記固体製品リザーバーは、前記プラットホーム上に配置された前記固体製品の一部を取り囲み、それによって前記固体製品の前記一部を前記加圧流体との接触から遮蔽するよう構成された、固体製品リザーバーと；を備え、
加圧流体が前記固体製品リザーバーを通過して流れ、前記プラットホームに接触するよう構成され、前記加圧流体を前記固体製品へと向かわせ、前記固体製品の浸食を介して前記化学溶液を形成するように、前記流体供給入口は、前記流体分注リザーバーと前記固体製品リザーバーとの間に加圧流体を分注するように配置された、製品ディスペンサー。
［２］
前記流体供給入口を通して送出される前記加圧流体の流れ特性を制御するように構成された少なくとも１つの圧力制御装置をさらに備える、項目１に記載のディスペンサー。
［３］

前記流体供給入口は、前記固体製品リザーバーの周囲に配置されて前記流体分注リザーバーと前記固体製品リザーバーとの間に加圧流体を分注する複数の流体供給入口を備え、前記少なくとも１つの圧力制御装置は、複数の圧力制御装置を備え、各圧力制御装置は、それぞれ前記複数の流体供給入口の１つを通して送出される加圧流体の流れ特性を制御するように構成される、項目１または２に記載のディスペンサー。

［４］

前記圧力制御装置は、前記加圧流体の圧力が変動したとしても、前記加圧流体の実質的に一定の流量を提供するように構成された圧力補償流れ調整器を備える、項目１～３のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［５］

加圧流体供給マニホールドをさらに備え、前記加圧流体供給マニホールドは、流体源に接続するように構成された入口ラインと、前記入口ラインから前記流体供給入口に流体を搬送するように構成された供給ラインと、前記入口ラインから流体を受け取り、前記流体を下流のディスペンサーに搬送するように構成された出口ラインと、前記入口ラインと前記供給ラインとの間の流体連通を制御するように構成された弁と、を含む、項目１～４のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［６］

前記流体分注リザーバーは、前記出口から外向きかつ垂直上方に延在するベイスン（ｂａｓｉｎ）を含む、項目１～５のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［７］

前記固体製品リザーバーは、前記出口に向かって垂直下方に延び、前記プラットホームに隣接する開放端を有する環を備える、項目６に記載のディスペンサー。

［８］

前記固体製品リザーバーの幾何学的中心は、前記プラットホームの幾何学的中心と同軸である、項目１～７のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［９］

前記流体分注リザーバーは、前記プラットホームの上、かつ前記流体供給入口の下に配置されたオーバーフロー出口をさらに含む、項目１～８のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［１０］

前記プラットホームは、前記固体製品と接触する上面を有し、前記固体製品が前記プラットホーム上に置かれたとき、前記固体製品リザーバーは底縁を有し、前記プラットホームの前記上面は、前記固体製品が前記固体製品リザーバーの下に下方に突出するよう構成されるように前記固体製品リザーバーの前記底縁から垂直方向に離間している、項目１～９のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［１１］

前記プラットホームは複数のペグを備え、隣接する前記ペグの間に空間を有し、前記加圧流体が前記空間を流れる、項目１～１０のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［１２］

前記プラットホームは、流路障害物を提供することによって加圧流体の流れの向きを変えるように構成され、前記流路障害物は、前記プラットホーム上の固体製品に接触する加圧流体の乱流を作り出す、項目１～１１のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［１３］

前記流体分注リザーバーの前記出口は、前記プラットホームの下に配置される、項目１～１２のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［１４］

前記出口の下流にドリップキャッチをさらに備える、項目１～１３のいずれか１項に記載のディスペンサー。

［１５］

ディスペンサーであって：

基部壁と前記基部壁から垂直上方に延びる少なくとも１つの側壁とを有する水分注リザーバーであって、前記水分注リザーバーは、前記基部壁を通して延在する出口を含み、前記水分注リザーバー内に形成された化学溶液を分注するように構成される、水分注リザーバーと；
前記水分注リザーバーの内部に位置し、前記基部壁及びそこを通って延びる出口の上に持ち上げられたプラットホームであって、前記プラットホームは、濃縮化学物質の固体ブロックを保持するように構成され、前記濃縮化学物質の固体ブロックと前記出口との間に流体を流すことを可能にする、プラットホームと；
前記水分注リザーバー内に位置し、前記プラットホームの上の領域に前記濃縮化学物質の固体ブロックを少なくとも部分的に取り囲む濃縮化学物質リザーバーと；
前記濃縮化学物質リザーバーの周囲に配置され、前記水分注リザーバーの前記少なくとも１つの側壁と前記濃縮化学物質リザーバーとの間に加圧水を向けるように構成された複数の給水入口であって、前記プラットホームに隣接する前記濃縮化学物質の固体ブロックに圧力水を接触させ、前記濃縮化学物質の固体ブロックの侵食を介して前記化学溶液を形成する、複数の給水入口と；を備える、ディスペンサー。
［１６］
前記水分注リザーバーは、前記複数の給水入口の下の位置に前記少なくとも１つの側壁を通って延びるオーバーフロー出口をさらに含む、項目１５に記載のディスペンサー。
［１７］
前記プラットホームは、前記濃縮化学物質の固体ブロックと接触する上面を有し、前記濃縮化学物質の固体ブロックが前記プラットホーム上に置かれたとき、前記濃縮化学物質リザーバーは底縁を有し、前記プラットホームの前記上面は、前記濃縮化学物質の固体ブロックが前記濃縮化学物質リザーバーの下に下方に突出するよう構成されるように、前記濃縮化学物質リザーバーの前記底縁から垂直方向に離間している、項目１５または１６に記載のディスペンサー。
［１８］
複数の圧力制御装置をさらに備え、各圧力制御装置は、それぞれ前記複数の給水入口の１つを通して送出される加圧水の流れ特性を制御するよう構成される、項目１５～１７のいずれか１項に記載のディスペンサー。
［１９］
加圧水供給マニホールドをさらに備え、前記加圧水供給マニホールドは、水源に接続するように構成された入口ラインと、前記入口ラインから前記複数の給水入口に水を搬送するように構成された供給ラインと、前記入口ラインから水を受け取り、下流のディスペンサーに前記水を搬送するように構成された出口ラインと、前記入口ラインと前記供給ラインとの間の流体連通を制御するように構成された弁と、を含む、項目１５～１８のいずれか１項に記載のディスペンサー。
［２０］
流体分注リザーバーの側壁と前記流体分注リザーバー内に位置する固体製品リザーバーの側壁との間に加圧流体を放出することであって、前記固体製品リザーバーは、前記流体分注リザーバーの基部壁の上に引き上げられたプラットホーム上に配置された固体製品を含む、ことと；
前記加圧流体を前記プラットホームの方に向け、それによって前記加圧流体を重力に対して略垂直の流れ方向から略水平の流れ方向に変化させて前記プラットホームに接触させ、前記プラットホーム上に配置された前記固体製品を浸食する加圧流体の乱流を供給することと；
前記流体分注リザーバーの前記基部壁を通して形成された出口を通して、前記固体製品の侵食から形成された化学溶液を放出することと、を含む、方法。
［２１］
前記加圧流体を前記プラットホームの方に向けることは、前記プラットホーム上に配置された前記固体製品が蓄積された流体と接触するように、前記流体分注リザーバーを流体

で部分的に満たすことを含む、項目２０に記載の方法。
［２２］
加圧流体を放出することは、前記固体製品リザーバーの周りに互いに略等距離に配置された複数の入口を通して加圧流体を放出することを含む、項目２０または２１に記載の方法。
［２３］
前記流体は水を含み、前記固体製品は、濃縮洗浄組成物、濃縮殺菌組成物、濃縮殺虫組成物、及び濃縮水処理用添加剤のうちの少なくとも１つを含む、項目２０～２２のいずれか１項に記載の方法。
［２４］
前記固体製品は材料のブロックである、項目２０～２３のいずれか１項に記載の方法。
［２５］
前記流体分注リザーバー及び前記固体製品リザーバーを含むディスペンサーを通して加圧流体を下流のディスペンサーに搬送することをさらに含む、項目２０～２４のいずれか１項に記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
製品ディスペンサーであって：
流体分注リザーバーであって、前記流体分注リザーバー内で形成された化学溶液を分注するように構成された出口を有する、流体分注リザーバーと；
加圧流体を前記流体分注リザーバーに供給するように構成された流体供給入口と；
前記流体分注リザーバー内に位置するプラットホームであって、前記プラットホームは、固体製品を保持し、前記固体製品を前記加圧流体に晒すように構成された、プラットホームと；
前記流体分注リザーバー内に位置する固体製品リザーバーであって、前記固体製品リザーバーは、前記プラットホーム上に配置された前記固体製品の一部を取り囲み、それによって前記固体製品の前記一部を前記加圧流体との接触から遮蔽するよう構成された、固体製品リザーバーと；を備え、
加圧流体が前記固体製品リザーバーを通過して流れ、前記プラットホームに接触するよう構成され、前記加圧流体を前記固体製品へと向かわせ、前記固体製品の浸食を介して前記化学溶液を形成するように、前記流体供給入口は、前記流体分注リザーバーと前記固体製品リザーバーとの間に加圧流体を分注するように配置された、製品ディスペンサー。
【請求項２】
前記流体供給入口を通して送出される前記加圧流体の流れ特性を制御するように構成された少なくとも１つの圧力制御装置をさらに備える、請求項１に記載のディスペンサー。
【請求項３】
前記流体供給入口は、前記固体製品リザーバーの周囲に配置されて前記流体分注リザーバーと前記固体製品リザーバーとの間に加圧流体を分注する複数の流体供給入口を備え、前記少なくとも１つの圧力制御装置は、複数の圧力制御装置を備え、各圧力制御装置は、それぞれ前記複数の流体供給入口の１つを通して送出される加圧流体の流れ特性を制御するように構成される、請求項１または２に記載のディスペンサー。
【請求項４】
前記圧力制御装置は、前記加圧流体の圧力が変動したとしても、前記加圧流体の実質的に一定の流量を提供するように構成された圧力補償流れ調整器を備える、請求項１～３のいずれか１項に記載のディスペンサー。

【請求項５】
加圧流体供給マニホールドをさらに備え、前記加圧流体供給マニホールドは、流体源に接続するように構成された入口ラインと、前記入口ラインから前記流体供給入口に流体を搬送するように構成された供給ラインと、前記入口ラインから流体を受け取り、前記流体を下流のディスペンサーに搬送するように構成された出口ラインと、前記入口ラインと前記供給ラインとの間の流体連通を制御するように構成された弁と、を含む、請求項１～４のいずれか１項に記載のディスペンサー。
【請求項６】
前記流体分注リザーバーは、前記出口から外向きかつ垂直上方に延在するベイスン（ｂａｓｉｎ）を含む、請求項１～５のいずれか１項に記載のディスペンサー。
【請求項７】
前記固体製品リザーバーは、前記出口に向かって垂直下方に延び、前記プラットホームに隣接する開放端を有する環を備える、請求項６に記載のディスペンサー。
【請求項８】
前記プラットホームは、前記固体製品と接触する上面を有し、前記固体製品が前記プラットホーム上に置かれたとき、前記固体製品リザーバーは底縁を有し、前記プラットホームの前記上面は、前記固体製品が前記固体製品リザーバーの下に下方に突出するよう構成されるように前記固体製品リザーバーの前記底縁から垂直方向に離間している、請求項１～７のいずれか１項に記載のディスペンサー。
【請求項９】
前記プラットホームは、流路障害物を提供することによって加圧流体の流れの向きを変えるように構成され、前記流路障害物は、前記プラットホーム上の固体製品に接触する加圧流体の乱流を作り出す、請求項１～８のいずれか１項に記載のディスペンサー。
【請求項１０】
前記流体分注リザーバーの前記出口は、前記プラットホームの下に配置される、請求項１～９のいずれか１項に記載のディスペンサー。
【請求項１１】
流体分注リザーバーの側壁と前記流体分注リザーバー内に位置する固体製品リザーバーの側壁との間に加圧流体を放出することであって、前記固体製品リザーバーは、前記流体分注リザーバーの基部壁の上に引き上げられたプラットホーム上に配置された固体製品を含む、ことと；
前記加圧流体を前記プラットホームの方に向け、それによって前記加圧流体を重力に対して略垂直の流れ方向から略水平の流れ方向に変化させて前記プラットホームに接触させ、前記プラットホーム上に配置された前記固体製品を浸食する加圧流体の乱流を供給することと；
前記流体分注リザーバーの前記基部壁を通して形成された出口を通して、前記固体製品の侵食から形成された化学溶液を放出することと、を含む、方法。
【請求項１２】
前記加圧流体を前記プラットホームの方に向けることは、前記プラットホーム上に配置された前記固体製品が蓄積された流体と接触するように、前記流体分注リザーバーを流体で部分的に満たすことを含む、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
加圧流体を放出することは、前記固体製品リザーバーの周りに互いに略等距離に配置された複数の入口を通して加圧流体を放出することを含む、請求項１１又は１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記流体は水を含み、前記固体製品は、濃縮洗浄組成物、濃縮殺菌組成物、濃縮殺虫組成物、及び濃縮水処理用添加剤のうちの少なくとも１つを含む、請求項１１～１３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１５】

前記固体製品は材料のブロックである、請求項１１～１４のいずれか１項に記載の方法。